



Press Release

HBC 北海道放送株式会社

※「ガッチャンコ」とは…

「くっつける」「ひとつになる」という意味で使われる言葉。HBCが、人と人、地域と地域を「つなぐ」存在でありたいという願いがこめられています。

2月28日(金)PM5:00 解禁

**今春放送・HBC 北海道放送制作
日昭ドラマスペシャル『三笠のキングと、あと数人』
追加キャスト発表！**

“渡鬼” “大奥” “カメ止め” “3000万” 俳優揃い踏み！

HBC 北海道放送制作、日昭株式会社(本社札幌)が特別協賛するスペシャルドラマ『三笠のキングと、あと数人』(全6話)が今春の放送に向けて準備中です。

本作は「北海盆唄」・北海道遺産「北海盆踊り」発祥の地※とされる空知の三笠市を舞台にした連続ドラマで、主演は期待の若手俳優・高杉真宙と柄本時生の二人。

現代社会で生きづらさを抱えた地元出身の若者達が、盆踊りで巻き起こす騒動とほろ苦い恋物語をベースに、新しい地域のあり方を考え、若者が町と共に成長していく地方と人の創生がテーマの、オリジナルストーリーとなり、昨年8月に撮影を終えました。

その脇を固める本作の重要な役どころとして、ドラマ「渡る世間は鬼ばかり」でお馴染みの俳優・東てる美、ドラマ「大奥」の女中トリオの一人を演じ「美味でございますう」のセリフで知られる久保田磨希、映画「カメラを止めるな！」での怪演で大ブレイクしたしゅはまはるみ、そして、NHKで昨年放送したドラマ「3000万」での熱演が記憶に新しい、いま注目の若手演技派俳優・森田想が出演します。

東は地元三笠市民に長年愛されるスナックのママ役、久保田は三笠市役所職員の盆踊り実行委員役、しゅはまは主人公健太の母親役、そして森田は本作のマドンナ・由紀子役という設定で、日本を代表するベテランと若手俳優がその演技力を存分に発揮、本作の見どころの一つとなっています。

HBCドラマ『三笠のキングと、あと数人』は今春の放送(地上波北海道ローカルほか)を予定しています。

※明治時代、三笠市幾春別の炭鉱街で唄われた「べっちょ節」が、昭和に入り「北海炭坑節」になり、さらに現在の全国的にも知られる「北海盆唄」へと変化したと言われています。「三笠北海盆踊り」は無形文化として北海道遺産にも登録されています。毎年8月13日・14日・15日に開催。

【お問い合わせ先】

HBC 北海道放送 コンプライアンス室視聴者センター
電話)011-232-5806

〈東てる美〉



東京都出身。

高い演技力で映画界のみならず、テレビドラマや舞台でも次々と話題作へ出演。NHK では大河ドラマ『おんな太閤記』をはじめ、連続テレビ小説『おしん』などでの演技で、実力派俳優として存在感を発揮。

また脚本家・橋田壽賀子の『渡る世間は鬼ばかり』シリーズに長年出演し、お茶の間の支持を集める。

〈久保田磨希〉



京都府出身。

存在感のある個性派俳優として、フジテレビ『大奥』シリーズ、NHK 連続テレビ小説『まんぷく』、『舞いあがれ！』、大河ドラマ『花燃ゆ』、映画『夜明けのすべて』など、確かな演技力で幅広い役柄をこなす。現在放送中のテレビ朝日『ホンノウスイッチ』に出演中。

〈しゅはまはるみ〉



東京都出身。

高校より小劇場を中心に俳優活動を続け、2018 年公開の映画『カメラを止めるな！』に参加し、主人公の妻・日暮晴美役で大ブレイク。東スポ映画大賞新人賞を受賞。その後も主演映画『かぞくあわせ』や NHK 朝ドラ『スカーレット』、『RIZAP』の CM 出演、『家政夫のミタゾノ』レギュラー出演など名バイプレイヤーとして活躍中。

〈森田想〉



東京都出身。

幼少の頃より子役として活動をスタート。

第 30 回東京国際映画祭スプラッシュ部門選出作品で、2018 年 3 月公開の映画『アイスと雨音』で初主演を務め、若手演技派俳優として注目を浴びる。

映画『わたしの見ている世界が全て』でマドリード国際映画祭 2022 外国映画部門・主演女優賞受賞。

映画『辰巳』で第 16 回 TAMA 映画賞・最優秀新進女優賞受賞。

〈森田想コメント〉

地元を愛する人、帰ってきた人、三笠にいる愉快的なキャラクターたちはどれも魅力的で、脚本がとても面白く感じました。由紀子は高校生レストランにも関わる教員で、先輩の同級生。2 人の主人公の渦に巻き込まれ楽しかったです。北海道という大きな土地の中で三笠をもっと盛り上げようと、名物の夏祭りを主題にし、街の皆さんにも沢山ご協力頂きました。魅力が伝わるドラマになっていると思います！ お楽しみに。